

数学Ⅰ入門

指導目標	算数の内容に数学的な見方・考え方を取り入れた数学的活動を通して、数学Ⅰの学習へのスムーズな接続を目指す。
------	--

教材	教科書：学習書を教科書として使用 学習書：数学Ⅰ入門(NHK出版) レポート・学習ノート	レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全7回 必要時間数：1時間 なし（参考映像として「ベーシック数学」Webでの視聴可） 年度末試験（1月）
----	--	----------------------------------	---

単位	2単位
評価	<p>【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）にもとづき評価します。</p> <p>上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。</p>

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導		到達度チェック 年度末試験	
	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容	内容・範囲	
4			1	①素数と素因数分解 学習書p.8-15 ・素数とその性質を理解させる。 ・素因数分解ができるようにする。		高校講座の内容と学習書の内容が異なるため、参考となる放送回のみ記載。	オリエンテーション(VOD) ～学習の進め方～			
			2	・すだれ算を使いこなせるようにする。						
5			3	②倍数と約数 学習書p.8-15 ・約数と最大公約数を求められるようにする。						
			4	・倍数と最小公倍数を求められるようにする。						
6			1	③負の数 学習書p.16-19 ・負の数とその性質を理解させる。 ・数を数直線上に表し、絶対値が求められるようにする。						
	1回 6/10	「数の計算(1)」 ○素数の性質・素因数分解 ○倍数・約数 ○正負の数	2	④正負の数の四則計算(1)と筆算 学習書p.20-33 ・正負の数の加法・減法ができるようにする。 ・正負の数の乗法・除法ができるようにする。 ・筆算を用いた計算ができるようにする。						
			1	⑤正負の数の四則計算(2)と筆算 学習書p.33-34 ・正負の数の四則計算ができるようにする。						
			2	・筆算が自由に使いこなせるようにする。						
			3	⑥小数の計算 学習書p.35-42 ・小数の性質を知り、小数で表せるようにする。						
			4	・筆算を用いた小数の計算ができるようにする。						

7	2回 7/15	<b>「数の計算(2)」</b> ○四則計算 ○小数の計算 ○筆算 ○分数の加法・減法	⑦分数の加法・減法、分数の約分・通分、 学習書p.43-54 1 ・分数の性質を知り、分数で表せるようにする。 2 ・分数の約分・通分ができるようにする。 ・分数の加法・減法ができるようにする。	1 分数の意味	調べ学習への取り組みについて
			⑧分数の乗法・除法 学習書p.54-57 3 ・分数の乗法・除法ができるようにする。 4 *できれば第3回レポートの自由課題にふれ、取り組みと提出を促す。		
8			⑨割合・速さ・概数 学習書p.58-68 1 ・割合を理解し、様々な表し方ができるようにする。 ・速さの公式を使いこなし、速さ・時間・距離が自由に求められるようにする。 ・概数の表し方を知り、適した表し方ができるようにする。	2 割合 4 はやさ	
	3回 8/25	<b>「数の計算(3)」</b> ○分数の乗法・除法 ○割合 ○調べ学習	⑩文字式 学習書p.69-78 3 ・文字式の便利さを知り、ルールに従って表せるようにする。 4 ・同類項をまとめられるようにする。		
9			⑪文字式の計算、指数法則 学習書p.78-85 1 ・文字式の四則計算ができるようにする。 2 ・指数法則を理解し、計算できるようにする。	5 文字式について 11 式の展開	
			⑫乗法公式、式の展開 学習書p.86-89 3 ・乗法公式を理解させる。 4 ・式の展開ができるようにする。	12 因数分解を知る 13 たすきがけによる因数分解	
10	4回 10/15	<b>「数の計算(4)」</b> ○速さ ○概数 <b>「数と式(1)」</b> ○文字式 ○式の展開 (1)	⑬因数分解 学習書p.89-94 1 ・因数分解できるようにする。 2		
			⑭平方根、根号を含む数、分母の有理化 学習書p.95-102 3 ・平方根を理解させる。 ・ $\sqrt{\quad}$ の意味・使い方を知り、根号を含む式の計算ができるようにする。 4 ・簡単な分母の有理化ができるようにする。	14 平方根を知る 15 ルートの計算	
11			⑮1次方程式 学習書p.103-106 1 ・1次方程式を解けるようにする。 ・文章を読み、1次方程式をたて、解けるようにする。 2	6 1次方程式を知る 7 1次方程式の利用	
	5回 11/30	<b>「数と式(2)」</b> ○式の展開 (2) ○因数分解 ○平方根 (1)	⑯2次方程式 学習書p.106-110 ・2次方程式を解けるようにする。 3 4	17 2次方程式とは 18 2次方程式の解の公式 19 2次方程式の利用	

12		<p>⑰平面座標、1次関数 学習書 p.111-115</p> <p>1 ・座標平面に点が打てるようになる。</p> <p>2 ・1次関数を理解させる。</p>	19 直線の式		
		<p>⑱1次関数のグラフ、2次関数のグラフ 学習書p.116-126</p> <p>3 ・1次関数のグラフがかけられるようにする。</p> <p>4 ・2次関数の特徴を理解し、グラフが書けるようにする。</p>	20 2直線の位置関係 21 2次関数を知る		
1	6回 1/05	<p>「数と式(3)、関数(1)」</p> <p>○平方根(2)</p> <p>○一次方程式</p> <p>○2次方程式</p> <p>○1次関数(1)</p>	<p>⑲三角形の合同・相似、三平方の定理 学習書p.127-131</p> <p>1 ・三角形の合同・相似条件を理解し、活用できるようにする。</p> <p>2 ・三平方の定理を利用できるようにする。</p>	26 三角形の合同 26 三角形の相似 28 三平方の定理を知る	年度末試験に向けた学習方法
			<p>⑳様々なグラフ 学習書p.133-143</p> <p>3 ・様々なグラフの特徴・利点を理解させる。</p> <p>4 ・用途に合った様々なグラフがかけられるようにする。</p>	38 データの表現	年度末試験 範囲：レポート1回~5回
2			<p>㉑~㉔</p> <p>1 ・数学Iの学習にスムーズつなげるための予習・復習の時期とする。状況に合わせて、内容を適宜選択。</p> <p>2</p>		
	7回 2/25	<p>「関数(2)」</p> <p>○1次関数(2)</p> <p>○2次関数</p> <p>「平面図形、データの分析」</p> <p>○三角形の合同と相似</p> <p>○三平方の定理</p> <p>○様々なグラフ</p>	3 4		
3			1 2		
			3 4		